

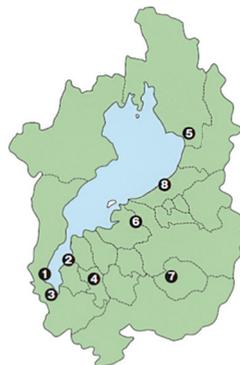


滋賀県内には、県の機関、大学等の多くの試験研究機関があります。これらの試験研究機関によって、琵琶湖に関するさまざまな研究が実施されています。中でも琵琶湖環境科学研究センターでは、環境政策を科学的知見から支える試験研究拠点として、行政課題に即した試験研究を展開しています。

1. 滋賀県内の試験研究機関

県では試験、調査、研究などを行うさまざまな機関を設置しており、これらの試験研究機関は琵琶湖をはじめとする滋賀の環境の保全や産業、農業、水産業など様々な分野の発展に貢献し、県の未来を支える重要な役割を果たしています。

また、琵琶湖に関する研究を行う多くの大学が立地しており、さらに、2017(平成29)年4月には、国立研究開発法人国立環境研究所 琵琶湖分室が滋賀県内に設置され、琵琶湖に関する科学的知見が一層充実することが期待されます。



滋賀県の試験研究機関	
① 琵琶湖環境科学研究センター	⑤ 東北部工業技術センター
② 琵琶湖博物館	⑥ 農業技術振興センター
③ 衛生科学センター	⑦ 畜産技術振興センター
④ 工業技術振興センター	⑧ 水産試験場

図10-4-1 滋賀県の試験研究機関

2. 琵琶湖環境科学研究センター

県の試験研究機関の1つである琵琶湖環境科学研究センターでは、琵琶湖と滋賀の環境問題に対して科学的側面から課題解決を図るため、未知の現象を解明し、研究成果を総合的に解析して政策提言を行っています。

琵琶湖環境科学研究センターでの調査やフィールドワークの様子、動くプランクトン図鑑、水中ロボットによる北湖水深90m付近の映像などを公式YouTubeチャンネルで紹介しているのでぜひご覧ください。



琵琶湖環境科学研究センター
ホームページ
(<https://www.lberi.jp/>)



琵琶湖環境科学研究センター
公式YouTubeチャンネル
(https://www.youtube.com/@lberi_209/videos)



写真10-4-1
琵琶湖環境科学研究センター



写真10-4-2
動くプランクトン図鑑